

# 江戸時代の松江の街路

# 大手前通りまちづくりだより

協議会・デザイン部会を開催し大手前通りのデザインについて検討を進めています

今回は江戸時代の松江の街路に焦点あててみたいと思います。  
 松江の城下は1607年～1611年の松江城築城に合わせて作られていきました。  
 1607年というと、あの有名な関が原の合戦からまだ7年ほどしか経っておらず、いまだ天下泰平の世の中とは言えない状況でした。そこで城と合わせ、城下の街路についても実戦を考慮にしたものが作られました。

## ちょうじろ ふくろこうじ 丁字路・袋小路(イ)

奥谷町・石橋町  
 右図からも分かるように迷路のようになっています。お寺もたくさんあり、迷い込んだ敵を攻撃できるようにになっています。

## かぎがたろ 鉤型路(ロ)

殿町  
 道をわざと屈曲させてあります。敵の攻撃の勢いを弱めるためと先が袋小路になっていると思わせるためです。

## せいだまり 勢溜り(ハ)

白潟天満宮前  
 道の途中を広くすることで、攻め込んできた敵を、向いの屋敷から攻撃することができます。



丁字路・袋小路 (奥谷町、石橋町)



鉤型路 (殿町)



勢溜り (白潟天満宮前)



(参考：大手前通りの歴史)

### 第2回大手前通りまちづくり協議会

平成21年7月4日(土)

場所 カラコロ工房 第1教室

### 第1回大手前通りまちづくり協議会デザイン部会

平成21年8月6日(木)

場所 カラコロ工房 第1教室

### 第2回大手前通りまちづくり協議会デザイン部会

平成21年11月11日(水)

場所 カラコロ工房第1教室

平成21年度は、今までに協議会1回、デザイン部会2回を開催しました。



## 検討内容

### 1 大手前通り街路デザインにおけるタイムラインの演出について

初めは大手前通りのタイムラインとして4つのゾーン(城山側から1江戸時期、2江戸～明治時期、3明治～昭和初期、4昭和初期～現在)に分けることも検討していましたが、協議を重ねた結果、あまりゾーンが多いと分かりづらいという意見が多く、現在は米子橋を中心に2つのゾーンに分けて検討を進めています。

大手前広場から米子橋までの区間については「歴史文化を活かした水と緑のあるまちづくり」とし、米子橋から国道485号までの区間については「交流と賑わいのある住みよい環境を育むまちづくり」をテーマにして考えています。

この空間の丁度中心にあたる米子橋を「時の架け橋」と位置づけ、この通りを訪れた方が橋を境にして、時代と時代の分岐を感じてもらえる空間にしたいと考えています。



# 大手前通りの母衣町ポケットパークについて

計画地1に整備予定のポケットパークは、市民の皆様の意見を取り入れたオープンスペースとするため、市報、ホームページ上でアイデア募集を行い、そのアイデアに基づいてデザインの検討を進めています。



(採用を予定しているアイデア)

## 公園名案 「松江ホットパーク」

人と人が出会って温かい気持ちになり、ほっと一息つけるような公園にしてほしい。

(松江市法吉町 12歳 女性)

**公園施設案** 家の庭とパブリックな空間が融合し、道行く人が自宅の縁側でくつろぐようにゆったりと過ごすことができる広場を目指す。

大手前通りの整備における5つの整備方針に沿ってデザインアイデアを提案する。

### 1 「過去から現在までのタイムラインを演出する景観づくり」

- 歴史を伝える解説板の設置
- 出土した石を再利用したしつらえ

### 2 「まちからお城と堀川が見える視点場を活かした景観づくり」

- 大手前通りと一体的な空間作り
  - ・ 歩道と広場の舗装色の統一
  - ・ 境界柵等の設置はしない

### 3 「憩い賑わえる歩行者空間作り」

- 憩い集えるベンチ、花壇の設置
  - ・ 出土した石の再利用

### 4 「安全で快適な歩行者空間づくり」

- 環境都市松江を象徴するグリーンカーテンの設置
  - ・ 公と民のやわらかい目隠し

### 5 「地域住民のニーズにあった景観づくり」

- 花壇の住民管理
  - ・ 地域の学校、自治会等の自主管理
- 水盤のイベント時の活用
  - ・ 地域住民による活花等、通りを演出する装置として活用



(松江市上乃木2丁目 35歳女性、37歳男性)

## 【その他のアイデア】

### 1 テーマを明確にし、アピールする。

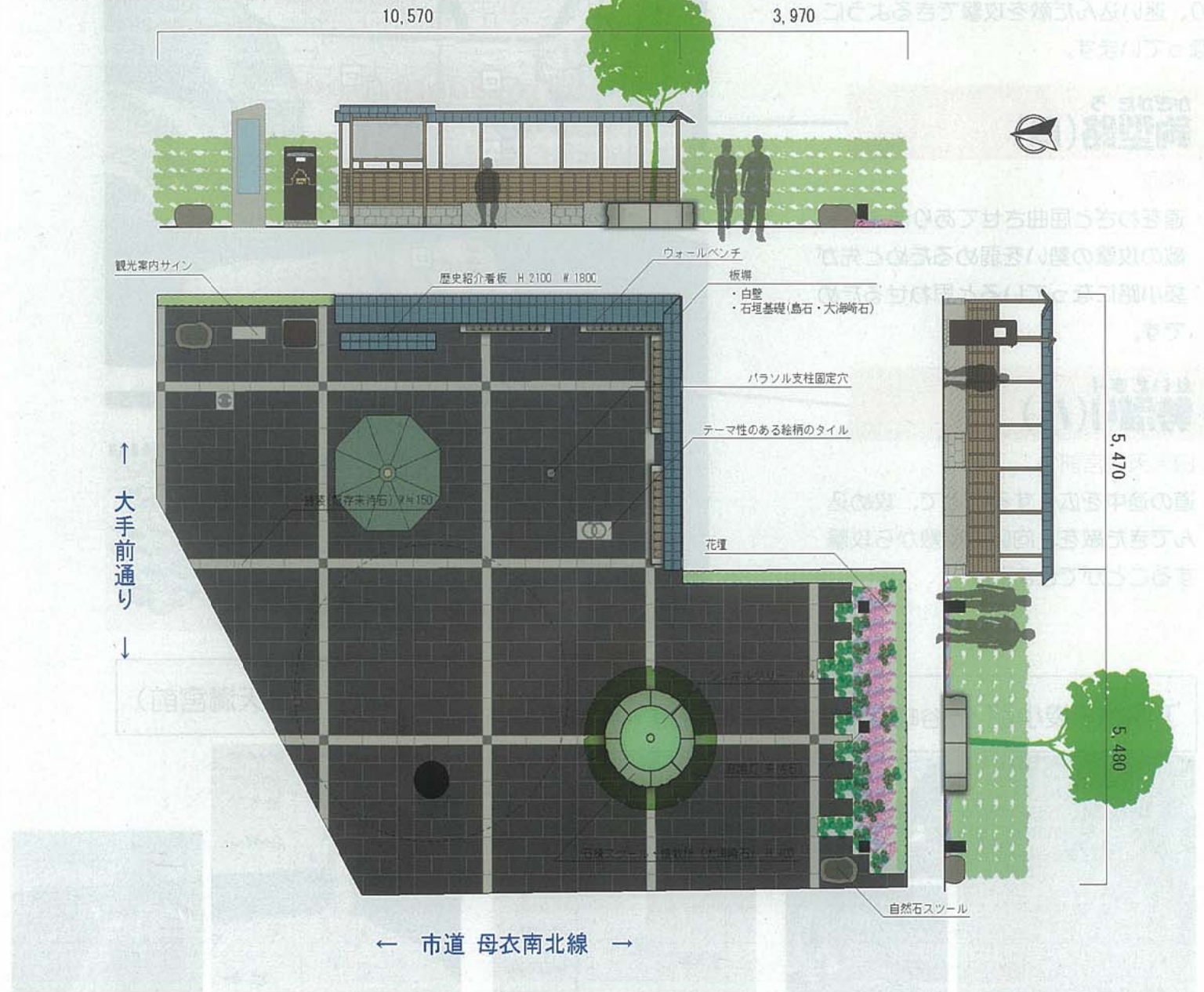
「縁結び」をテーマに新設される公園にシンボルを作る。例えばベンチの上、歩道部分などに「愛」「恋」「縁」「結」などの文字を描くとか、彫った石版をアトランダム(※1)にはめこんではどうか。付近にあるポストを利用して楽しめる。背景にマッチした郵便ポストを作成するとか、松江市製作の「縁結び」のロゴマークや手をつなぐマークを郵便ポストに描き「縁結びポスト」と命名する。

### 2 隣接する官民境界には現在予定地に置かれている石を使用し、立ち木による垣根を作らない。

多くの立ち木を公園内に植樹すると枯葉の掃除や剪定など、メンテナンスに困る。また、この公園の管理を町内会だけに望むのではなく、企業市民を含む全市民にアドプト(※2)的管理を考えると利用者が増えると思う。大手前通りに植樹予定の「なんじゃもんじゃ」も考慮した植樹計画にしてほしい。(※1アトランダム：無作為にするさま ※2アドプト：養子にする)

(松江市米子町 62歳男性)

## ポケットパーク計画図(案)



(史記のひしぎん毛大 音巻)